

## 令和5年度第2回千葉市生涯学習審議会議事録

1 日時 令和6年2月5日(火) 10時から12時まで

2 場所 千葉市役所高層棟2階 201会議室

### 3 出席者

#### (1) 委員

菊池会長、萩原副会長、伊藤委員、今関委員、小早川委員、船越委員、細川委員、三橋委員

#### (2) 事務局

齋木生涯学習部長、佐久間中央図書館長、内海生涯学習振興課長、真田中央図書館管理課長、小池生涯学習振興課課長補佐、岩井管理班主査、積田生涯学習科学教育班主査、伊原企画班主査

### 4 議題

(1) 会長・副会長の選出

(2) 公民館のあり方(素案)について

(3) 千城台公民館・若葉図書館の再整備について

(4) 若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について

(5) 千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について

### 5 議事概要

(1) 会長・副会長の選出について、委員の互選により選出した。

(2) 公民館のあり方(素案)について、事務局が説明し、各委員から意見を聴いた。

(3) 千城台公民館・若葉図書館の再整備について、事務局が説明し、各委員から意見を聴いた。

(4) 若松公民館の第76回優良公民館表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について、事務局より報告した。

(5) 千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について、事務局より報告した。

### 6 会議経過

議事に先立ち、事務局から資料の確認、会議の公開及び議事録の承認方法、会議の成立の報告及び委員紹介、職員紹介を行った。

## (1) 会長、副会長の選出

### ○ (小池課長補佐)

最初の議題は、「生涯学習審議会の会長・副会長の選出です。会長選任までの間、齋木部長を仮議長として議事を進めさせていただきますので、ご了承願います。

### ○ (齋木生涯学習部長)

「議題1 会長、副会長の選出」でございますが、千葉市生涯学習審議会設置条例第5条第2項の規定により「会長及び副会長は、委員の互選により定める」となっております。まず最初に会長の選出につきまして、自薦他薦などございますか。

### ○ (三橋委員)

菊池委員を会長に推薦いたします。

### ○ (齋木生涯学習部長)

ただいま、三橋委員より、菊池委員を会長に、ご推薦がございましたが、委員の皆さまいかがでしょうか。

### ○ (委員一同)

異議なし

### ○ (齋木生涯学習部長)

それでは、菊池委員を会長に選任いたします。

以降の議事進行につきましては、菊池委員にお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

### ○ (菊池会長)

続きまして、副会長の選任をいたします。自薦他薦ございますか。

### ○ (三橋委員)

萩原委員を副会長に推薦いたします。

### ○ (菊池会長)

ただいま、三橋委員より、萩原委員を副会長に、ご推薦がございましたが、委員の皆さまいかがでしょうか。

### ○ (委員一同)

異議なし

### ○ (菊池会長)

それでは、萩原委員を副会長に選任いたします。

## (2) 公民館のあり方(素案) について

### ○ (菊池会長)

「議題2 公民館のあり方(素案)について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

### ○ (内海生涯学習振興課長)

公民館のあり方(素案) について説明いたします。

「資料1 公民館のあり方(素案) について」をお願いいたします。

1 ページをお願いいたします。

「1 公民館の目的」ですが、住民のために生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としております。

「2 公民館の事業」ですが、定期講座の開設、生涯学習に関する事業などを行っております。

2 ページをお願いいたします。

文部科学大臣の諮問機関として文部科学省内に設置されている中央教育審議会が平成30年に示した答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」において、公民館は住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習の推進や、学習成果を地域課題解決のための実際の活動につなげていく役割を担う必要があるとされていることから、第1次実施計画及び第6次生涯学習推進計画に公民館の機能強化を位置づけました。

3 ページをお願いいたします。

「本市の現状」を記載しています。

「(2) 築後経過状況」ですが、47館中22館が築40年以上となっており老朽化が進んでいる状況となっております。

「(3) 管理運営体制」ですが、各区に1館配置する中核館6館は各6人5人工、地区館41館は各3人2.5人工で、休館日である年末年始以外、公民館を運営しています。

「(4) 主な事業内容」については、皆様ご存じのとおり主催講座の開催や、利用者や学習サークル運営の相談・助言、施設の管理運営、避難所運営協力等を行っております。

4 ページをお願いいたします。

「(5) 利用状況」を記載していますが、新型コロナウイルスの流行に伴う利用者制限を行ったことから、開催講座数を増加させているものの、延受講者数は減少となっております。

「(6) 利用者の世代別構成」ですが、利用者の62.9%が65歳以上の方となっており、未成年以下の利用者がとても少ない状況となっております。

「(7) 令和4年度の稼働率」については記載のとおりです。

5 ページをお願いいたします。

「(8) 令和4年度の学習相談等件数」ですが、公民館と生涯学習センターで、3, 115件の相談を受けております。生涯学習センターには、生涯学習相談員6人を配置し体制を強化しており、年 15件程度は学習に関係のない相談にも対応しております。

「(9) これまでの公民館」ですが、地域における学習・交流の拠点である公民館活動は、70余年、活力と潤いのある地域社会の実現のため、大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、人々の多様化・高度化する学習ニーズや生涯学習社会の進展、地方分権の推進等、新たな状況が生じており、今後は社会の変化に対応した社会教育の推進が求められているところであります。

特に、公民館に対しては、地域に密着した活動・取り組みが期待されており、地域の自由度を一層高めていくことが求められているところであります。

6 ページをお願いいたします。

社会情勢の変化に伴い、公民館は人づくりや地域づくり、防災の重要な拠点とした機能の確保が求められていることから、今後は公民館の設置及び運営に関する方向性を見直し、ソフト面の弾力化、施設の強力化を図ることで公民館活動の振興と充実を図る必要があると考え、地域拠点及び防災拠点としての避難所機能の充実を図るため、公民館の機能強化を図って参ります。

7 ページをお願いいたします。

「地域拠点としての役割」として、市民同士の繋がりがとても大切であると考えており、子育て世代、子どもの居場所づくりなどの地域開放などを行う「つどい」、地域課題の把握、解決のための講座開催などの「まなび」、生涯学習センター学習相談員や区地域担当職員、地域団体との連携による広聴機能を持つ「つながり」場として、地域拠点としての役割を担え続けられるよう取り組んでいく必要があると考えております。

8 ページをお願いいたします。

「防災拠点としての役割」として、平時から避難所運営委員会との連携を図り、地域拠点施設としての避難所機能を維持するとともに、防災学習の推進や、地域と連携した防災訓練の実施など、防災機能の強化を図って参ります。

9 ページをお願いいたします。

「イメージ」として、地域特性も考慮し、各公民館が地域と意見交換しながら事業化するのが望ましいと考えており、まずは、公民館職員が地域の皆様とともに考え、HPやチラシなどで、こんなことをしているよ、していくよ、と周知できるようにになったら最初のGOALかな、と考えております。

10 ページをお願いいたします。

「今後の予定」ですが、今年度を実施モデル館を2館選定し、令和6年度に事業実施、令和7年度に効果検証を行い、令和8年度より他館に展開する予定でござ

ざいます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

#### ○（菊池会長）

只今の説明について、ご意見等がございましたらお願いします。

#### ○（船越委員）

公民館に関する説明がありました。基本的な公民館の役割について、第6次生涯学習推進計画とのつながり方は、どのような解釈で提案されたものですか。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

第6次生涯学習推進計画は、公民館のみならず他の分野も記載しています。その中で、公民館は、主たる生涯学習を推進する施設と考えています。公民館は、老朽化して、47館中5割近くが築40年経過しています。その施設を維持運営するためには、公民館のあり方自体を見直していかなければなりません。そのため、公民館のあり方を提案しています。

#### ○（船越委員）

第6次生涯学習推進計画に、一番最初に目指すべき姿がありますが、その中に一人一人が学びを通して成長しみんなが輝く千葉市とあります。その計画目標が新しい時代の市民の学びを支え生活と地域社会に生かし、多様な主体と連携協同を図り、持続可能な社会を形成できる環境を作るとされています。ここがスタートラインと思いますので、今のご説明とのつながりに関心を持ちました。公民館の個別に老朽化や建て替えは、その後になる話かと思えます。

まず計画の目標にかかわる事項の根幹はどこにあるか気になっております。生涯学習という意味を、この場でどのように共有されているか知りたいと思えます。一生涯学び続けることが、どのような形で実現するのか。その場合、公民館がどのような役割を果たすのか、お聞かせください。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

確かに第6次生涯学習推進計画では、新しい時代の市民の学びを支え生活と地域社会に生かし、多様な主体と連携協同を図り、持続可能な社会を形成できる環境を作ると記載があります。公民館は地域コミュニティの維持形成のために大きな役割を果たしてきました。それ以外の役割としては、住民が主体的に地域の課題を把握して、問題解決のために公民館を利用し利用者が協力しながら学習を推し進めていくことで、学んだことが地域に還元されていきます。そういったことによって、地域の街づくりの発展に寄与すると考えています。

もうひとつは、生涯学習施設として公民館は47館あり、区役所より地域にきめ細かく設置されています。公民館は、地域とのつながりがあるため、ファーストキャッチの役割を担えるので、区役所や市役所と連携し、地域課題に取り組むことで、よりよい街づくりを進められると思えます。また、子供たちの居場所づくりに公民館を自習室として開放しております。若葉区千城台地区の小中学校の子供たちへ公民館について聞いたところ、公民館がどのようなものか理解がされ

ていませんでした。第6次生涯学習推進計画で目標を定めていますが、公民館を知ってもらうことがスタートラインと思い、公民館のあり方について、委員の皆様にご意見を伺いたいと思います。

#### ○（齋木生涯学習部長）

これまでの公民館は、個人の学びで終わっていましたが、これからは時代に見合った公民館として、地域がコミュニティ維持も含めて持続的に発展できるようにするためには、どうしたらよいか、検討する必要があると考え、第6次生涯学習推進計画に、公民館機能の強化を位置づけています。

住民が主体的に地域課題を解決するために必要な学習の推進や成果を結びつけることが、公民館に求められていると思います。これをどのように具体化していくか今後検討していきたいと思い、公民館のあり方を作成したところです。

#### ○（菊池会長）

公民館のあり方が議題に挙げられておりますので、生涯学習審議会で、どの視点で話し合うのか、確認することが必要だと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

#### ○（伊藤委員）

公民館が変わるというメッセージがあり、共感します。花園公民館には子供から高齢者まで自由に過ごすカフェがありますが、自然な交流ができており、新たな活動が生まれています。子供は勉強や絵を描いたりしており、高齢者はおしゃべりなどをしてはいますが、そのうち、高齢者と子供が将棋をしたり、歌や踊りも始まって交流が生まれています。そうした中で、地域の課題が出てきます。高齢者の認知症の問題から、その認知症サポーター養成講座を開催し、近所のスーパーマーケットの閉店により、買い物難民対策で、移動販売車を誘致しました。そのほか様々な催し物を開催しています。公民館の機能が非常に多様化していることで、自己表現がいろいろな形で現れ、活動が生まれています。こういったイメージが地域の拠点ではないかと思います。

その要因を考えますと、いろいろな人が集まり、輪が広がっていくことが非常に良い環境です。また、地域のいろいろなネットワークが生きており、例えば、社会福祉協議会からボランティアを紹介してもらい、生活コーディネーターが地域の様々な要望にアドバイスやお手伝いを交えて応えてくれています。

公民館を地域の拠点にとありますが、モデル事業を行うならば、是非とも公民館と地域住民の共同事業で行っていただければよいと思います。モデル事業の企画の段階から公民館の社会教育主事と話し合っ、モデル事業を組み立てていただければと思います。子供が公民館に来る機会が少ないということですが、子供のことを強調するよりは、みんなの公民館という路線でお願いします。それから地域の団体との連携は、今までは自治会など既存の団体ですが、街づくりの専門性を持った人たちとも、多様な連携を考えてほしいと思います。

#### ○（齋木生涯学習部長）

地域拠点は、公民館だけでなく、自治会を始め、地域団体など目的に応じた地域拠点があるとよいと思います。しかし、公民館は地域にとって身近で重要な拠

点であります。普段は顔の見える関係を作り、災害が発生した時に公民館に集まれば、様々な助け合いができるようにするため、災害時における地域拠点の避難所としての機能を維持する目的もあります。今後どのような取り組みが必要か検討していきます。

#### ○（菊池会長）

資料1の7ページに記載の「5 地域拠点としての役割」にあります。いろいろな役割の拠点が地域にあることが大切だと思います。その中で、公民館について、ご意見がもう少し伺いたいと思います。

#### ○（細川委員）

公民館47館のうち、図書室併設が21館ありますので、公民館が開催した講座に関連した図書資料を図書室で展示できれば、図書室に来た人にも、知ってもらえるので、上手く連携できればと思います。また、外国人にも、その母国語で書かれているチラシを配り、公民館で日本語講座などを開催して利用を広げたり、災害時の拠点を平時からわかる仕組みができればと思います。

#### ○（菊池会長）

公民館で、今まで外国人が地域に参画できる取り組み等の事例がありましたら、教えてください。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

外国人に日本語を教える日本語教室や日本語を教える講師養成講座があります。講座を開催することで、お互いの文化を知ることでもできると考えています。

#### ○（菊池会長）

国際交流協会で行っていた外国人親子を対象とした講座なども開催していければと思います。

#### ○（齋木生涯学習部長）

外国人の多い地域から、日本語の教室や日本文化の紹介をチラシなどで情報発信するプッシュ型で取り組みができるよう公民館へ促していきたいと思います。

#### ○（三橋委員）

公民館利用者の世代別構成では、小中学生が低い数値になっています。子供のころから公民館に慣れ親しむことは、生涯にわたり学ぶことを得る機会になると思います。小中学校で使用している学習タブレットがセキュリティの関係で公民館のWiFi接続できませんが、それが解決できれば、自習等で利用が増えると思います。また、電子書籍が学習タブレットでも利用できると、学習効果があります。

しかし、図書館が発行する図書利用カードがないと電子書籍が借りることができませんが、そのため、子どもたちは、親と一緒に図書館までカードを作りに行くことが必要です。小中学生が電子図書を借りやすくできるよう検討いただけないでしょうか。

○（内海生涯学習振興課長）

公民館47館すべてでWiFi接続を設置していますので、パソコンなどで自習等の学習に使用できます。

○（三橋委員）

学習タブレットは、外部とのメールを遮断していますので、セキュリティ上に解決しなければならない課題があると思います。

○（佐久間中央図書館長）

現状では、市民の方が図書館の利用カードを持っていないと電子書籍を借りることができません。しかし、来年度から小中学校で図書館の利用カードを持っていなくても、先生と児童生徒が電子書籍を利用できる環境を整備する予定であります。また、学校向けの電子書籍のコンテンツも充実させる予定です。

○（三橋委員）

非常に良い改善だと思いますので、よろしくお願いします。

○（菊池会長）

公民館には、図書室が21館設置されていますが、図書館から遠い地域の公民館に設置しているのでしょうか。

○（積田生涯学習振興課主査）

各区の図書館や分館が近くにない地域の公民館に図書室を設置しています。

○（伊藤委員）

公民館図書室が市民とつながるには、読書会が良いと思います。図書館司書がぜひ読書会の開催を企画して、公民館のモデル事業に取り組んでいただければと思います。

○（船越委員）

公民館は、人それぞれ利用する目的の位置付けが違うので、地域の人たちが日頃、どのような考えや生活をしているかをリサーチしていかないと地域拠点としての結果に結びつかないと思います。また、学校と公民館でどのように連携するのか、防災ではどのように対処しなければならないか、ディスカッションできれば良いです。公民館同士でも情報交換や共有して、千葉市の地域拠点のあり方になると思います。

○（齋木生涯学習部長）

地域の特性を把握して、地域の方々が情報共有や議論することは非常に良い提案ですので、今後検討いたします。

○（今関委員）

学校現場で子供たちの話を聞くと、家庭環境によっては自宅で落ち着いて勉強ができないといった相談があるので、図書館以外にも、身近な公民館で自習室を



設けてもらえると子供たちには助かると思います。

中学生の公民館利用が少ないという点では、中学2年生で職場体験に図書館や消防署に行って、働く学習をしています。公民館での職場体験も将来の公民館利用に有意義と思います。

#### ○（小早川委員）

以前、防災の避難所設営訓練に参加した際に、東日本大震災の避難所では、中学生も活動の担い手となり活躍したとお聞きしました。小中学生を対象に防災講座を開催できれば、公民館は災害時の防災拠点でもあり、地域住民が集う場所と理解してもらえるとと思います。また、公民館と学校の関係では、日頃から学習等で地域の方や公民館にご協力いただいております。

#### ○（菊池会長）

公民館と学校の関係も大切です、防災教育も公民館を中心に地域で開催できればと思います。

#### ○（伊藤委員）

子供の居場所とありますが、子供にとって公民館は面白い場所でなければ来所しづらいので、もう少し柔らかい感じにした方がよいと思います。子供は公民館に来て、学校の宿題から始めて、勉強意欲がありますから、公民館を面白い、楽しい場所にしても大丈夫ではと思いますので、いろいろご検討ください。

#### ○（船越委員）

公民館が柔らかく、面白くということと、学ぶことが、いかに繋がるかが課題と思います。関西の事例では、公民館で学ぶことが、誰でも先生と生徒になれます。小学生が先生になり、住民に教えています。千葉市では、そのような機会がないので、いろいろ楽しんで学ぶ機会ができればよいと思います。

#### ○（伊藤委員）

子供の居場所を作ることはよいと思いますが、誰か見守る人がいないといけないと思いますが、今後どのように考えていますか。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

子供たちを見守るということは、大事なことと思います。公民館全てで、自習室を設けていますが、中学生までは、午後5時までの利用としています。見守りがあれば、それ以降も可能ですので、キーポイントだと思います。

#### ○（伊藤委員）

公民館職員では、人数も少ないため、見守りには、ボランティアなど市民の力を借りた方がよいと思います。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

行政の主導ではなく、地域の人たちの自主性を上手く公民館の社会教育主事が引きだしていければ良いと思います。

○（菊池会長）

いろいろな意見をありがとうございます。このような議論を地域でも行いたいとありますが、公民館運営審議会でも、ご意見を聞いていますか。

○（内海生涯学習振興課長）

公民館運営審議会で、公民館のあり方を審議事項とするかは、公民館の指定管理者である千葉市教育振興財団と検討して参ります。

○（菊池会長）

他にご意見等はございますか。無ければ、次の議題に移ります。

（3）千城台公民館・若葉図書館の再整備について

○（菊池会長）

「議題3 千城台公民館・若葉図書館の再整備について」事務局より説明をお願いします。

○（内海生涯学習振興課長）

第1次実施計画及び第6次生涯学習推進計画に位置づけております、千城台公民館・若葉図書館の再整備につきましては、庁内合意が得られ来年度の予算要求を行っております。地元検討委員会やインターネットや利用者アンケート、市民・小学生・中学生向けワークショップでいただいたご意見・要望を踏まえ、令和6・7年度の2か年を掛け基本・実施設計を行います。

それでは、「資料2 千城台公民館・若葉図書館の再整備について」をお願いいたします。

2ページをお願いいたします。

「1 千城台南小学校跡施設 グランドデザイン」についてですが、北側に保育所、中央に公民館と図書館の複合施設と広場を、南側に和陽園を整備する予定となっております。千城台南中学校と隣接する右の東側には緑道を整備し、西側に駐車場を整備する予定となっております。

3ページをお願いいたします。

「2 緑道と広場を活かした憩いの場と賑わいを創出（イメージ）」についてですが、テラスやベンチの設置により、日常的な憩いの場を創出するとともに、公民館祭りや地域のイベントの際には、緑道と広場を一体的に使いキッチンカーなどを呼び込むなど、賑わいの創出を図って参ります。

4ページをお願いいたします。

「3 千城台公民館の整備について」ですが、第6次千葉市生涯学習推進計画の施策展開の方向性を踏まえて、目指すべき姿を整理しております。

「(1) 目指すべき姿」ですが、「将来像」を、新しい時代の市民の学びを支え、生活や地域社会に活かし、多様な主体と連携・協働を図ることで、持続可能な社

会を形成できる環境をつくるための拠点とし、「方向性」を、ソフト面の弾力化と施設の強靱化による公民館活動の振興と充実を実現するために、公民館を地域の拠点としたコミュニティづくりの再構築を図るとともに、防災拠点施設としての避難所機能の維持・強化をし、地域拠点や防災拠点としての役割を担うため、公民館の機能強化を図って参ります。

5 ページをお願いいたします。

目指すべき姿や、(2)に記載する地元住民からの主な要望、意見を踏まえ、(3)に公民館の整備のポイントを整理しました。地域の活動拠点の確保や、ロビーなど予約なしで利用できる共有スペースの確保、調理室や和室の専用室を見直し、多目的利用を可能とする諸室への変更などとなります。

6 ページをお願いいたします。

「4 若葉図書館の整備について」説明いたします。

「(1) 目指すべき姿」ですが、図書館ビジョン 2040 に示した将来像の実現に向け、地区図書館の方向性を踏まえて、若葉図書館の目指すべき姿を整理しております。

図書館ビジョン 2040 において、図書館の「将来像」は、知の循環をつくり、未来へつなぐ知を生み出す「知の拠点」と掲げております。続きまして、「地区図書館の方向性」として、図書館ビジョン 2040 において、施設規模のコンパクト化を図り、特定分野の専門的な資料を揃えるとともに、ICTを活用した利便性の高いサービスを提供するとしており、この将来像及び地区図書館の方向性を踏まえ、若葉図書館の目指すべき姿を「地域の活動を支える情報センター」と整理いたしました。

7 ページをお願いいたします。

目指すべき姿や、(2)に記載する地元住民からの主な要望、意見を踏まえ、(3)に図書館の整備のポイントを整理しました。谷津田や加曽利貝塚を有する区の特性を踏まえ、地域の自然・文化への理解に資する資料や地域団体等の活動記録の保存スペースの拡充、千城台駅周辺に返却ポストを設置するとともに、新施設に開館時間外(公民館開館時間 21 時まで)でも予約図書の実受取りが可能なサービスを導入、読書スペース、ワーキングスペースやグループスペースの設置、くつろぎながら、絵本など現物の本に触れることもできる子ども室の設置となります。

8 ページをお願いいたします。

「5 公民館と図書館の複合化による事業効果」についてですが、4 点ございます。延床面積の削減や運用・保全コストの効率化、公民館及び図書館の相互利用の機会の増加、公民館の講座・イベントと図書館の企画展示等の連携、図書館のレファレンス機能の活用による公民館での学び・活動の支援があげられます。

9 ページをお願いいたします。

「6 諸室構成及び規模」についてですが、施設規模は、公民館・図書館ともに約 1,000 m<sup>2</sup>を予定しております。主な諸室として、公民館は、指定管理による

運営を前提に、会議室5室、ホール、工芸室、地域活動拠点、倉庫、多目的室・準備室を、図書館は、市による直接運営を前提に、一般開架室、子ども室、予約図書受取室、閉架書庫を予定しております。その他、施設全体とて、ロビー、事務室、多機能トイレ、エレベーター等を設置予定でございます。

特徴といたしまして、予約なしで自由に使い、休憩、談話や飲食も可能なフリースペースを複合施設の共有部分に設けるなど地域の活動と交流を促進するよう、施設のレイアウトを設計にて検討します。また、地域運営委員会活動拠点を新設し、ユニバーサルデザインを重視した、多機能トイレ、授乳室を設置いたします。

図書館におきましては、事前に予約した図書の受取室を設置します。一般開架室、子ども室、閉架書庫については、現在の規模を維持いたしますが、多目的室については、施設の効率的な利用を図るため、公民館の会議室へ統合する予定でございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

#### ○（菊池会長）

只今の説明について、ご意見等がございましたらお願いします。

#### ○（船越委員）

千葉市では公共施設の複合化を行う場合は調整をどのように進めていますか。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

財政局に資産経営課がございますが、小学校跡地の有効活用について、千葉市役所の各課へ照会をかけた上で、老朽化などで既存施設の移転を希望する所管課による関係課長会議などで調整を進めていきます。そして、今回の公民館や図書館、保育所等の整備が進められました。

#### ○（細川委員）

昼間や開館時間中に図書館に行けない人が、図書館の在庫図書もインターネットで予約できますか。自分の都合の良い時に図書館に行って借りることができます。また、若葉図書館では、特定分野の専門図書資料をそろえることになっていますが、各図書館では、専門分野を分担して図書を収集していますか。

#### ○（佐久間中央図書館長）

図書の予約は、貸出し中の図書のほかに、在庫している図書もインターネットで予約できます。

また、各図書館による図書の分担収集ですが、現在その方針はありません。しかし、図書館ビジョンでは、各図書館の特色を出していくことが示されております。

#### ○（伊藤委員）

子供の少子化で、学校が廃校になることが、今後も考えられますが、学校跡地の再整備計画はどのようになりますか。

○（内海生涯学習振興課長）

学校跡地の活用は、行政のみで検討するだけでなく、地域の方々と調整しながら進めていきます。地域に何が必要かを一緒に考えていきます。

○（萩原委員）

公民館・図書館の隣接には、保育所や老人ホームが計画されていますが、連携等は、どのように考えていますか。

○（内海生涯学習振興課長）

各施設と連携して、地域の活性化を考えていかなければならないと思いますので、これから各施設といろいろな意見を出し合って進めていきます。保育所や隣接地にある中学校の児童生徒との交流の場を設けていければ、子供に公民館が親しみやすい施設になります。また、高齢者施設とも交流を考えていきます。

○（船越委員）

この整備エリアの名称はありますか。なければぜひ、名称を付けていただきたいと思います。

○（内海生涯学習振興課長）

地域の方々と検討してまいります。

○（菊池会長）

こてはし台公民館と花見川図書館が先に複合化施設になっていますが、先例としてどのように生かされますか。また、公民館や図書館の複合化はどのように取り組まれていますか。

○（内海生涯学習振興課長）

公民館と図書館が相互に補完しあっていければと思います。公民館が開催する講座の資料について、図書館司書に相談したり、公民館で開催された講座に関する図書を図書館で企画展示することができます。

○（佐久間中央図書館長）

こてはし台公民館と花見川図書館の複合化は、図書館の空調設備の故障により、早期に改修を実施する必要があったため、地元との調整に十分な時間が確保できたとはいえ面がありました。

しかし、千城台公民館と若葉図書館の複合化は、新しく学校跡地に整備することから令和4年度にワークショップやアンケート調査を実地して、複合化施設の考え方を整理しています。令和6年度から整備事業を具体化していきますが、引き続き、地元のご意見を聞き、対話を行いながら取り組んでまいります。

○（内海生涯学習振興課長）

施設の建て替えなどの再整備にあたりましては、複合化や集約化を図り、公民館のあり方を踏まえて、進めています。

○（萩原委員）

公民館の管理運営は、現在どのようになっていますか。指定管理団体の場合、定められた期間に管理運営が限られるため、地域住民との継続的な関わりをどのように考えていますか。また、公民館館長は退職された小中学校長と聞いていますので、そのことも含めてお聞きします。

○（内海生涯学習振興課長）

公民館の管理運営は、指定管理者に業務委託しており、委託期間は基本5年です。

毎年度、指定管理者の管理運営の評価をして、千葉市の求める管理運営がなされているか確認しています。また、退職された学校長は、豊かな職務経験をお持ちですので、指定管理者が雇用し、その経験を生かして、管理運営の業務に携わってもらっています。

○（齋木生涯学習部長）

地域住民と公民館の信頼については、公民館館長や職員等へ研修を通じて、地域との重要性や密着した管理運営を認識してもらうように努めてまいります。

○（萩原委員）

公民館職員が地域住民とより協力して、地域の課題解決をしていければ良いと思います。

○（齋木生涯学習部長）

千城台公民館・若葉図書館の再整備の大きなポイントのひとつに、地域の活動拠点を施設内に一室を設けることにしています。公民館と地域の方々が連携できる体制を作りますので、活動拠点において、いろいろな団体等が情報共有をして、どのような地域課題があるのか議論の場になっていければと思います。

この活動拠点では、地域運営委員会が中心になりますが、千葉市社会福祉協議会や青少年育成委員会、学校PTAといった様々な団体で構成されていますので、モデルケースの第一号として進めていければと思います。

○（菊池会長）

千城台公民館・若葉図書館の再整備によって、新しい地域活動が他の公民館にも参考にできることがあるかもしれませんので、注目していきたいと思います。他にご意見等はございますか。無ければ報告事項に進みます。

（４）若松公民館の第76回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）の受賞について

○（菊池会長）

次第の5、報告1「若松公民館の第76回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）の受賞について」事務局より説明をお願いします。

### ○（内海生涯学習振興課長）

若松公民館が文部科学大臣表彰「第76回全国優良公民館表彰」を受けることが決定しましたので報告します。

資料3をお願いいたします。

「1 表彰の趣旨」ですが、全国の公民館などの社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、その活動成果を生かして、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として、文部科学大臣が表彰しています。

今回は、2月9日に69館が表彰されます。

「5 被表彰に至った経緯」ですが、地域の実情に応じ、地域住民の学習活動の支援や地域の問題解決に資するため、積極的に現代的な学習テーマや取り組み内容について、学習内容を深めるための取り組み手法により、多様な利用者の参加促進のための学習環境の整備に取り組み、かつ事業の成果等について自己点検・自己評価を行っている実績が評価されました。

「(2) 主な取り組み内容」ですが、坂月川の美化活動や保全活動を行う「坂月川愛好会」と連携して、「坂月川親子生き物教室」を開催しております。講座に参加した親子が自然のすばらしさや環境保護に対する知見を深め、地域への愛着を持ってもらえるよう、毎回プログラムの見直しを行っております。

令和2年度には「子どもお菓子作りリーダー養成講座」を6回開催、若松公民館だよりを近隣4小・中学校の全生徒、約2,200人への配布を行うなど、公民館が子ども達にとって身近な施設となるよう努めております。

8ページをお願いいたします。

また、「サークルの創設を目指した連続講座」の開催や、広報活動に力を入れており、公民館を利用したことのない方から講座の企画が持ち込まれるようにもなりました。今後も地域人材の発掘や、子どもを介した若い世代の取り込みを行うなど、公民館や地域のさらなる活性化に努めてまいります。

報告は以上でございます。

### （5）千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について

#### ○（菊池会長）

続きまして、報告2「千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」の文部科学大臣表彰の受賞について」事務局より説明をお願いいたします。

#### ○（内海生涯学習振興課長）

千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」が、令和5年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受けることが決定しましたので報告します。

資料4をお願いいたします。

「1 表彰の趣旨」ですが、全ての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展および認知度の向上に資するため、特色あ

る優れた活動を行っている「家庭教育支援チーム」に対し、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰するものです。

平成29年度から隔年で実施され、今回は2月9日に20活動が表彰されます。

「4 被表彰活動内容」の千葉市家庭教育支援チーム「こもんず」は、平成20年度に結成され、子育てサポーターや臨床心理士、民生委員、児童委員など、8人の方達で構成されています。活動拠点は園生小学校、活動地域は小中台中学校区でございます。

「5 被表彰に至った経緯」ですが、子育てに関する学習機会の提供、子育てに関する悩みや家庭教育の相談の対応、新たな地域人材の養成など、その活動内容が他の活動と比較して顕著に優れていて、地域全体への普及効果が高いと認められ、当該地域における家庭教育支援活動の推進に効果をあげていることが評価されました。

「(2) 主な取り組み内容」ですが、「地域における家庭教育基盤形成」を自分たちの地域の課題であると位置付け、子育て学習講座として「子育て親育ち講座」の開催、子育てに関する悩み相談に対応する「こもんず広場」(子育て井戸端会議)と「こもんずカフェ」(個別相談)の開催、子育てに関わる地域人材などの情報収集・ネットワーク化などを行っています。

また、公民館と連携して成長期の女の子の心と体の変化について知る「ツボミスクール」や、性教育講座などを意欲的に開催しています。

このほかにも、資料には記載しておりませんが、文部科学省作成のリーフレット「つくろう！家庭教育支援チーム」などにおいて、活動事例として紹介されているほか、令和4年12月には内閣官房こども家庭庁設立準備室により開催された「こどもまんなかフォーラム」にパネラーとしても参加し、活動紹介を行っております。

報告は以上でございます。

#### ○(菊池会長)

只今の報告について、ご意見等がございましたらお願いします。

#### ○(委員一同)

意見なし

#### ○(菊池会長)

このほか、委員の皆様から何かございますでしょうか。

特にないようでしたら、以上で本日の議事を終了します。

議事後、事務局からの事務連絡を行った。

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 問い合わせ先 | 千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課            |
| 電 話    | 043-245-5953                       |
| ファックス  | 043-245-5992                       |
| 電子メール  | shogaigakushu.EDL@city.chiba.lg.jp |